

平成30年度 岩手県林業技術センター、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所東北支所、同林木育種センター東北育種場 合同成果報告会の開催

平成31年2月5日(火)、盛岡市中ノ橋通「プラザおでって3階ホール」において、標記合同成果報告会を開催しました。

報告会では10課題(森林総合研究所東北支所2課題、東北育種場1課題、林業技術センター7課題)の発表を行いました。発表内容はプログラムをご覧ください。

参加者は141名で、活発な質疑応答がなされ、今後の試験研究の参考となる貴重なご意見をいただきました。感謝申し上げます。



岩手県林業技術センター 赤澤所長挨拶

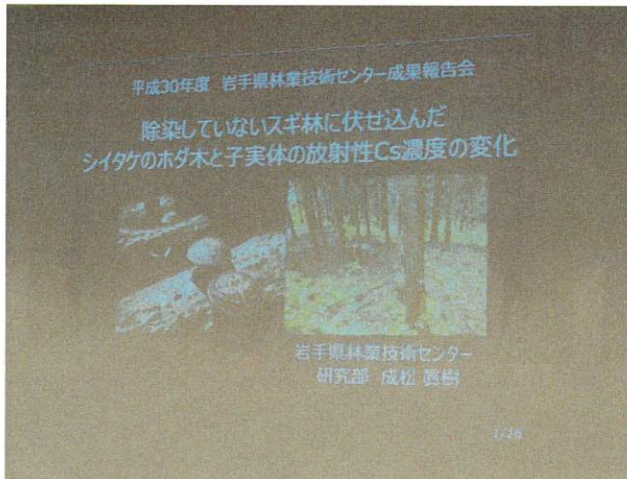


森林総合研究所東北支所 梶本支所長挨拶

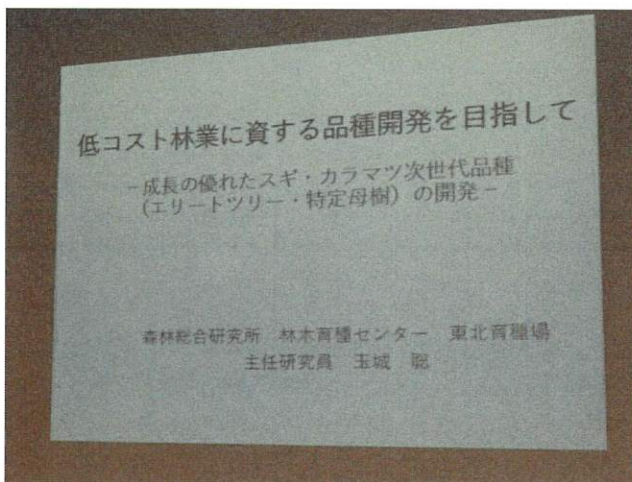


「日本の伝統的な漆塗りを支える 国産ウルシの増産を目指して」

森林総合研究所東北支所 田端産学官民連携推進調整監



「除染をしていないスギ林に伏せ込んだホダ木と子実体の放射性Cs濃度の変化」  
岩手県林業技術センター 成松上席専門研究員



「低コスト林業に資する品種開発を目指して」  
成長の優れたスギ・カラマツ次世代品種(エリートツリー・特定母樹)の開発  
森林総合研究所東北支所林木育種場 玉城主任研究員